

みなさまと病院をつなぐ情報誌

TAKE FREE
ご自由にお持ち帰りください。



7/26(土) 病院見学体験会2014

消化器内科ブース／腹部超音波検査体験中

人体の代わりに“寒天”にしのばせた品物を調べています。

※詳細は6Pをご覧ください。

特集1

眼科 特集③

まぶたの病気について
(眼瞼下垂・眼瞼内反)

2・3P

特集2

第58回 創立記念式典

4・5P

特集3

病院見学体験会2014

6P

■登録医のご紹介 7P

かわさき内科クリニック／高野吉行先生

長岡市山古志診療所／佐藤良司先生

■INFORMATION 8P

消化器センター公開セミナーの
ご案内

まぶたの病気について

皆さまこんにちは。立川総合病院眼科の山本達郎です。
前回の眼科特集第2回目では「白内障手術について」
説明しました。

第3回目の今回のテーマは「まぶたの病気(眼瞼下垂・
眼瞼内反)について」です。どうぞ宜しくお願いします。

立川総合病院
眼科医長
山本 達郎



1 はじめに

一口に「まぶたの病気」といっても様々なものがあります。日々診療を行っていると中でも、「眼瞼下垂」と「眼瞼内反」でお困りの患者さんを多く見受けます。

これらの病気が直接的に視力に影響することは少ないですが、視覚の質 (QOV ;

Quality of vision) の低下をもたらしたり、眼の不快感から頭痛や肩こりなどの原因となることもあります。

眼瞼下垂と眼瞼内反についてこれから説明する内容に目を通して頂き、皆さまの眼の健康の手助けとなって頂ければ幸いです。

2 眼瞼下垂・眼瞼内反とは

眼瞼下垂とは「上眼瞼(うわまぶた)が下がってしまう病気です。

原因は加齢によるものが多く、退行性眼瞼下垂と言います。年齢的な変化によってまぶたの組織が弱くなってしまふたが下がります。

症状としては視野が狭く感じます。また、前頭部(おでこ)の筋肉を使って無理に眉毛を上げて眼を開けようとするので、おでこにしわが寄り、頭痛や肩こりが生じることもあります。眼瞼下垂がひどくなると顎を上げて物を見るようになります。患者さんの中にはご自身では眼瞼下垂と気づかずに、「疲れ目」で眼科を受診される方もいらっしゃいます。

退行性眼瞼下垂の治療は手術ですが、脳動脈瘤や脳梗塞などが原因の眼瞼下垂は脳外科的な精査、治療が優先となります。

眼瞼内反とは「眼瞼(まぶた)が内側に向いてしまう病気」です。特に下眼瞼(したまぶた)に起こります。

原因は眼瞼下垂と同様に加齢性のものが多く、退行性眼瞼内反と言います。年齢による変化でまぶたの組織が弱くなることに起因します。

症状としては、睫毛(まつ毛)が眼球に接触するので刺激となり、涙がたくさんでたり、眼の痛みと違和感(ごろごろ感)が強く生じます。患者さんの中には「逆さまつ毛だと思って自分でまつ毛を抜いているが全然良くならない」と訴えて眼科を受診され、眼瞼内反が初めて見つかるケースもあります。

点眼薬で経過観察となる場合もありますが、根治治療は手術です。

（眼瞼下垂・眼瞼内反）

③ 手術について

手術は眼瞼下垂、眼瞼内反とともに、原因である弱くなったまぶたの組織を修復し、下がったまぶた、内側に向いたまぶたを元の状

態に戻す手術です。手術時間は20～30分程度ですので、全身疾患のあるご高齢の患者さんでも身体への負担はそれ程ありません。

■ 眼瞼下垂



手術前

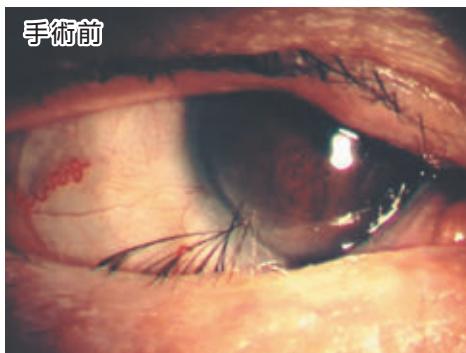


手術後

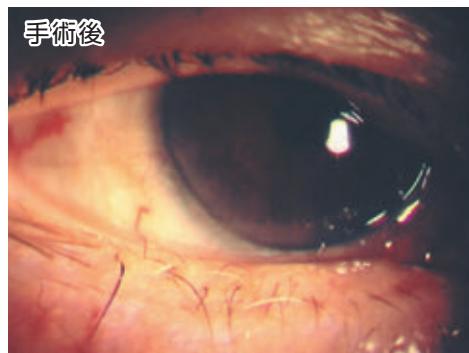
左眼の眼瞼下垂の方です。手術でまぶたが上がって、視野が広がり眼の疲れもなくなりました。

(※写真は患者さんのご承諾の上、掲載しています。)

■ 眼瞼内反



手術前



手術後

右眼の下眼瞼内反の方です。手術で下まぶたとまつ毛が外側に向き、眼の痛みと違和感が改善されました。

(※写真は患者さんのご承諾の上、掲載しています。)

④ 医師より皆さまへメッセージ

身体と比べると眼の病気は軽く考えられてしまうかもしれません、早期発見・早期治療が大事です。また、眼科的な治療によって視覚の質 (QOV) を良くすることで、生活の質 (QOL; Quality of life) も高めることができます。

眼の症状でお困りな事がございましたら、どんな些細な事でも構いません。どうぞ当院眼科までお越しください。外来で長くお待たせしてしまうかもしれません、「診察を受けて良かった」と感じて頂ける診療をお約束します。

～新病院をイラストでご紹介～

●期日／8月1日金
●会場／長岡市立劇場

法人役員、職員、OBの方々並びに長岡晴風会様・柏崎晴風会様から一堂にお集まりいただきました。

第一部は法人役員紹介に続き、永年勤続表彰式を挙行いたしました。今年の受賞者は勤続30年が8名、勤続20年が25名、勤続10年が67名で計100名の方々が受賞されました。理事長から各年の代表に表彰状と記念品が授与され、受賞者代表の悠遊健康村病院 看護部 星名ヨシ子さんから謝辞が述べられ、悠遊健康村病院移転時の思い出や中越地震を職員が一致団結し乗り越えたことなどと共に、今後も専門分野の研鑽に励み、法人の発展に寄与することを誓われました。

続いて理事長挨拶では、法人内での一年を振り返りトピックスを紹介しながら肅々と運営がなされたことや、就職された先生の紹介、法人の中越圏域での現況、最後に新病院移転計画を建築予定の建物をイメージ映像で紹介し工事の進捗状況を述べられました。

第二部の記念コンサートでは、フルート“笛人 本宮宏美”さんの演奏とシンガーソングライター“川嶋あい”さんの素晴らしい歌声をご披露いただきました。

最後にお礼の気持ちを花束に込めて理事長から贈呈され、盛会のうちに閉会となりました。



理事長挨拶



永年勤続表彰式
理事長より表彰状と記念品を授与



ご参加いただいたOBの方々



記念コンサートにご出演の
川嶋あいさん（右）と本宮宏美さん

現在地



移転先 上条・高畠地区
国道17号線高畠南交差点北側



新病院完成イメージ(南側より) 右側に東山連峰



正面玄関(西側より)



1階 エントランスホール



1階エントランスホールより、2階外来部門へ



2階外来ロビー

特集3 医療や体について楽しく学ぼう!

病院見学体験会2014

7/26
土

この企画は平成15年から恒例行事として、立川総合病院外来を会場に開催されました。毎年多くの方々から参加をいただいており今年は220名のご参加をいただきました。

今年は14のブースを設け、子供から大人まで楽しめる内容で、医療機器や検査機器に触れてもらうことで医療や身体の仕組みについて理解を深めていただくことを目的として開催されました。

脳神経外科、消化器内科、循環器内科からの出展ブースでは医師が直接手術やエコーの器械の使い方を指導し、参加者が実際に手技を経験していただけるよう企画をいたしました。

また中学生以上の方には、キャリア教育の一助として、将

来医療職へ就いていただくことを目的に「医療人への道」と題し、医師・看護師・薬剤師から、自らの経験と医療職としての、やりがいを理解していただける講演を行いました。

毎年人気のブースで、今年で3回目になりました、長岡市消防本部のご協力で「救急車をのぞいてみよう」を開催いたしました。本物の救急車を展示いただき、救急処置の実際を見学させていただきました。ただ運ぶだけの自動車ではなく、救急車（救急隊）と病院が連携を図り、市民の救急医療を担っていることを講習いただきました。

次回も新たな企画で病院へのご理解を深めていただけるように計画いたします。



内視鏡を体験中



カテーテルの操作を講習中



恒例クイズ大会は大盛況！



救急車をのぞいてみよう



看護部リンクナース会
あなたの手洗い大丈夫？



真剣に耳を傾ける参加者の皆さん

たくさんの方々から
ご参加をいただき
ありがとうございました。



かわさき内科クリニック

院長

高野 吉行 先生

- 開業年月／平成8年10月
- 診療科目／内科、小児科
- 中心となる診療科／内科
- 住所／〒940-0864 長岡市川崎2-2477-1
- TEL／0258-34-1180 FAX／0258-34-1182
- ご出身地／長岡市
- ご趣味／帆船、絵画の作成、陶芸



自院の特徴と診療方針

今年還暦を迎え初孫もできていよいよドクターG(爺)です。総合内科専門医として全力で診察します。

診療日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～13:00	○	○	○	○	○	○	
15:00～18:00	○	○	○	/	○	/	



長岡市山古志診療所

院長

佐藤 良司 先生

- 開業年月／昭和59年4月
- 診療科目／内科
- 中心となる診療科／内科
- 住所／〒947-0204 長岡市山古志竹沢甲2835
- TEL／0258-59-3807 FAX／0258-59-3808
- ご出身地／長岡市(旧古志郡山古志村)
- ご趣味／読書、テレビ囲碁観戦、油絵



自院の特徴と診療方針

地域の高齢者中心の診療(午前)及び在宅患者往診(午後)で、週4日間の診療体制です。



診療日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:30	休 診 日	虫 亀	山 古 志	種 苧 原	山 古 志	休 診 日	休 診 日
15:00～18:00		往 診	往 診	往 診	往 診		

※種苧原＝長岡市種苧原診療所 TEL・FAX 0258-59-3032
※虫 亀＝長岡市虫亀診療所 TEL・FAX 0258-59-2267

※前列左は地域医療研修を行う研修医の井上先生

消化器病で困らないために —よくわかる胃と大腸の病気—



立川綜合病院消化器センターの医師やスタッフが、消化器病の最新の診断、治療、予防についてわかりやすく解説し、ご質問にお答えします。

消化器病にならないため、かかっても困らないためにも、最新の知識を聞いて、明日から役立ててください。通院患者さんだけでなく、ご家族や健康な方、若い学生さんたちのご参加も大歓迎です。勉強してご家族を病気から守ってあげてください。

会 場 **アオーレ長岡
市民交流ホールB (西棟3階)**



9月27日(土) [1日目]

胃の病気について

- 14:00~14:30 ピロリ菌と胃のはなし～もう胃の病気では困らない!～ [講師] 内科 杉谷想一
14:30~15:00 お見せします最新の内視鏡治療 [講師] 内科 大関康志
15:10~15:40 手術を知ろう! 胃がん編／胃がん手術最前線 [講師] 外科 蝶川浩史
15:40~16:00 質疑応答



9月28日(日) [2日目]

展示・体験

- [看護部] 大腸カメラの前って何を飲むの?～腸をおそうじする薬、実際に飲んでみませんか?～
[栄養科] 食事の工夫～がんにならないために、なっても元気でいるために～

- 13:30~14:00 ミニレクチャー 意外と知らない“脱腸”のはなし [講師] 外科 蝶川浩史

大腸の病気について

- 14:00~14:30 がん検診と大腸検査ってどうやるの? [講師] 内科 高橋俊作
14:30~15:00 手術を知ろう! 大腸がん編／大腸がん手術最前線 [講師] 外科 蝶川浩史
15:10~15:40 がん活～抗がん剤治療、しますか!? [講師] 内科 小林由夏
15:40~16:00 質疑応答

問合せ先

医療法人 立川メディカルセンター
立川綜合病院 担当:医療連携室

〒940-8621 新潟県長岡市神田町3-2-11
TEL 0258-33-3111 FAX 0258-34-4803
Email: renkei@tatikawa.or.jp